

■ 調査結果のまとめ

- 「場」の具体的な事例を見ると、
 - ・ 活動内容は、住民交流、健康づくり、生涯学習、高齢者支援、子育て支援、飲食、特産品づくり・販売、観光、商店など地域ごとに多様であること
 - ・ それを支えるのは、行政職員以外にも、地域運営組織、NPO法人・地域づくり団体、地域おこし協力隊、集落支援員などであることが明らかになってきた。
- また、地域運営組織・集落支援員については、いずれも地域コミュニティの維持・活性化につながる活動を行っており、一定の成果が出ているといえる。
一方で、当該活動が行われている地域の人口増減との関係について、有意なデータは得られなかった。
- 地域の活力の維持・向上には、住民の居場所づくりや住民同士の交流の機会の創出などによる地域コミュニティの維持・活性化が寄与している。
なお、地域の活力が維持・向上していると回答した市町村は、社会増団体ばかりではない。

■ 今後の論点

- 地域の活力の維持・活性化のためには、それぞれ地域において形成される「場」を支える人材や仕組みが重要であることから、例えば小学校区や集落などの市町村よりも小さな地域の単位に着目し、集落支援員、地域運営組織、中間支援団体などの活動をどのように支えていくか議論が必要ではないか。